

Sankka

讃歌
秋号

京都九条病院 Communication Book

◎特集① 消化器内科部長に
聞きました。

高度な内視鏡検査・
内視鏡治療で、
早期癌の根治を実現していきます。

◎特集② 京都九条病院を支える縁の下の力持ち。

看護補助者

仕事に対する誇りと、高い職業意識を持ち、
医療サービスの向上に貢献しています。

栄養科

お一人おひとりに合わせた、
食べやすい美味しい食事をご提供しています。

◎日本臨床栄養代謝学会

臨床栄養代謝専門療法士・がん専門療法士に片山管理栄養士が認定されました。

◎コミュニケーション広場

◎健康は毎日の食事から「医食同源」講座(第30講目)

◎地道にコツコツ「健康運動」講座(第9講目)

◎ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ(第56弾)

◎私の病院自慢あれこれ(第56回)

◎院内散策(48)

◎看護部・新人看護職員研修



消化器内科部長 宮脇喜一郎



院長 松井淳琪

vol.56
2020 Autumn
秋号

高度な内視鏡検査・ 内視鏡治療で、 早期癌の根治を 実現していきます。



Kiichiro Miyawaki

京都九条病院
消化器内科部長 宮脇 喜一郎

ドクター全員が 消化器病・内視鏡の スペシャリストです

消化器内科は食道、胃、十二指腸、小腸、大腸といった消化管に加え、肝臓、胆嚢、膵臓、脾臓など腹部臓器の病気を診る内科で、内視鏡、エコー、CT、MRIなどの画像診断を中心に診断・治療を行っています。京都九条病院の消化器内科・消化器内視鏡センターでは、常勤医7名全員が消化器病あるいは内視鏡の学会指導医・専門医の資格を持つスペシャリストで、早期癌の内視鏡治療をはじめ、総胆管結石など、さまざまな消化器疾患に対して、専門性の高い診療を提供しています。

検診・早めの受診で 早期発見、早期治療

2017年に新たに診断された癌(全国がん登録)は約97万7000例に上ります。な

かでも近年増加しているのが大腸癌です。さまざまな種類の癌のうち、男性では3番目、女性では2番目に多く、臓器別癌死亡率でも上位に位置しています。とても怖い癌と思われがちですが、早期の段階で治療を行えば高い確率で治療することができます。

膵臓癌も近年増加傾向にあります。膵臓癌の死亡数はこの30年で8倍以上に増加しており、毎年3万人以上の方が亡くなっています。この膵臓癌を含め、胆管・胆嚢癌などはかなり進行しないと自覚症状が現れにくいことから、発見が遅れがちで、それが治療を難しくしている要因の一つでもあります。膵臓や胆嚢などの癌は腹部エコー検査で見つかることも多いので、とくに慢性膵炎や糖尿病の持病のある方などはぜひ腹部エコー検査を受けてください。

大腸癌、膵臓癌や胆嚢癌に限らず、早い段階で癌が発見できれば、体に負担の少ない内視鏡での治療が行えますし、根治の可能性も高まります。実

際、消化器系の癌は、検診を受ける人の増加もあって早期発見数が増え、根治される方が増えています。元の生活に早く戻っていただくためには、早い段階での疾患の発見、早期治療が何より大事です。

また、どの癌もおおよそ60歳代から増加し、高齢になるほど罹患率が高くなる傾向がありますが、生活状況の変化もあって、20代、30代の方で胃癌や大腸癌が見つかる例も決して珍しくありません。自分はまだまだ癌年齢ではないので大丈夫と過信せず、若い方にもぜひ検診を受けていただきたいと思えます。

検査の負担を 軽減する工夫を しています

検診は受けたいけれど胃カメラが苦手なためらわれる方もおられますが、当院ではできるだけ細い胃カメラを使ったり、検査時に胃内に入れる空気の入れ方や入れる量を調節する

OUR HOSPITAL CONCEPT

京都九条病院の基本理念

良質な医療を安定的に提供します。
さらに常に最大限最高の医療の提供を目指す
前向きな姿勢を持ち続けます。

OUR HOSPITAL POLICY

京都九条病院の基本方針

- 1 医療は患者さまとご家族と医療者が協同して行うものと考えます。
- 2 「奉仕の精神」を持ち、親切な対応、サービスの向上を心がけます。
- 3 公平・公正で良質な地域医療を、安定的に提供し続けます。
- 4 急性期医療に24時間対応し、専門性の高い高度医療を充実させます。
- 5 治療に関する情報はすべて患者さまに開示し、分かり易く説明します。
- 6 最先端の予防医学・健診技術を用い、「地域の人の健康」に貢献します。
- 7 地域支援の中核として活動し、トータルヘルスクエアを進めます。
- 8 各種研修指定施設として、高い技能を持つ人材を育成します。

「患者の権利」に関する宣言

京都九条病院では、患者さまの個人としての尊厳が守られ、より良い信頼関係の深まりとともに安心して医療が受けられるように、患者さまの権利に関する宣言を掲げます。

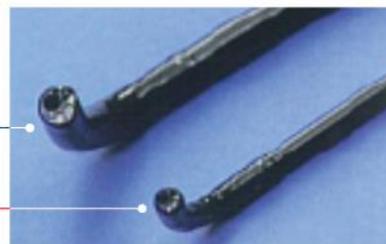
- 1 患者さまは、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されることなく、平等な治療を受ける権利を持っています。
- 2 患者さまは、自由に医療機関を選ぶ権利を持っています。
- 3 患者さまは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利あるいは治療を受けることを拒否する権利を持っています。
- 4 患者さまは、医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を持っています。
- 5 患者さまは、医師ならびに医療従事者が患者さまについて知り得たすべての医療上の情報及び個人的情報が保護される権利を持っています。
- 6 患者さまは、いかなる状態にあってもその人格を尊厳され、また尊厳をもってその人生を全うする権利を持っています。

私達京都九条病院職員は、患者さまの権利を尊厳し、十分な相互理解をもって、患者さまが最善の治療を受けられるよう最大限努力をします。私達京都九条病院職員は、良質な医療を提供し続けるために、常に前向きに努力することを誓います。

■ 電子内視鏡 (胃カメラ)

従来のスコープ

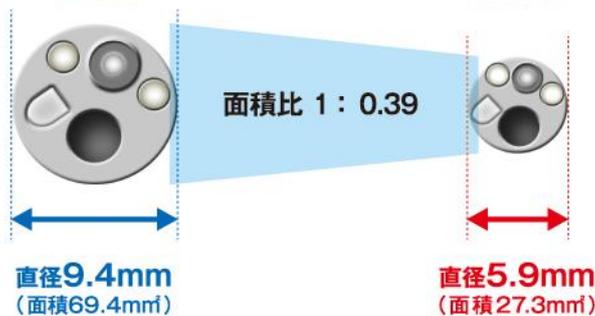
経鼻用スコープ



■ 電子内視鏡のサイズ

従来のスコープ

経鼻用スコープ



※イメージイラスト掲載のイメージイラストは、実際の大きさは異なります。

などして、受診される方の負担をできる限り軽減する工夫をしていますので、安心して検査を受けていただけます。また、大腸癌のスクリーニング検査は、便に血が混じっていないか調べる潜血検査です。これは、便を採取するだけなので気軽に受けてください。

こうした検査を定期的に受けることはもちろん大切ですが、日々の生活の中で少しでも気がかりなことがあれば、ためらわず外来で相談されることをお勧めします。

仕事をお持ちの方には、病院に来て診察を受けるといのはまだまだハードルが高く、

気になることがあってもそのままにしてしまう場合も多いと思います。ただ、食欲がない、食べた時に胃腸が痛む、便秘が続くといった些細な症状も、重大な疾患のサインである場合があるため、少しでも不安に思うことがあれば、すぐに受診してください。

働きやすい環境づくりで、医療の質をさらに高めていきます

私は、消化器内科部長として、スタッフ皆が働きやすいと思える環境を作っていきたいと思っています。スタッフの充実感が

が増すことで、それぞれの力が発揮しやすくなり、患者さんに提供できる医療の質も向上すると考えるからです。

皆さんの意見を聞いて、それぞれの立場を尊重しつつ、助け合える関係を築くことで、これからも地域の方々によりよい医療を提供していけるよう努めていく所存です。

◎大腸内視鏡検査につて

大腸内視鏡検査の受診で、男性医師だと恥ずかしいと思われる女性の方がおられましたら、当院には内視鏡専門医の女性医師がおりますので、お気軽にご相談ください。

看護補助者

仕事に対する誇りと、
高い職業意識を持ち、
医療サービスの向上に貢献しています。



では、患者さんご自身では困難なことを補助しながら、自分のことは自分でやりたいという患者さんの気持ちを尊重して、家で過ごされる状態を想定した見守りやケアを行っています。例えばトイレに行く訓練をされている方の場合は、トイレまで付き添い、ご自身に患者さんの身近できめ細やかなサポートを行っています。

いつも私たちが
看護補助者は、
患者さんの身近な
存在です

私たちが看護補助者は、看護師がより専門性を生かした仕事に専念できるよう、看護師の指示のもと看護師の補助業務に従事しています。

業務内容はベッドメイキングや院内の物品の運搬・補充、食事の配膳・下膳、患者さんの移送、病室の環境整備、オムツ交換やトイレ介助といった排泄ケアなど、広範囲に及びます。また、在宅療養に向けた支援を行う地域包括ケア病棟におい

患者さんと
看護師をつなぐ
メッセンジャー

患者さんは、ナースコールを押すまでもなく、でも手を貸してほしいという時に、看護補助者に声をかけてこられます。普段のコミュニケーションの中で、生活する上でのパターンやこだわり、思考などを理解し、看護補助者もそれに添った対応を心掛けています。また、患者さんがはつきりと言葉にしないけれども、疑問や不安に思っ

ることを察知し、それを看護師に伝えることもあり、看護補助者は看護師と患者さんの間を繋ぐメッセンジャーであり、そしてそれは重要な役割だと感じています。

キャリアアップへの
評価と制度

私たちは看護補助者としての仕事にプライドを持ち、責任を果たすよう努めています。医療現場で求められる質の高い業務内容に対応できるように、毎年、看護補助者研修を受けて知識と技術を向上させ、日々の業務に生かしています。こうした研鑽を積む中で皆の職業意識が年々上がっており、それが仕事への自負心を育て、ひいてはよりよいサービスの提供につながっています。

私たちは看護補助者として、また、看護補助者一人ひとりの意見を聞き、それを業務や環境改善につなげる仕組みもあってモチベーションも上がり、働き続けられる職場の風土につながっています。

また、看護補助者一人ひとりの意見を聞き、それを業務や環境改善につなげる仕組みもあってモチベーションも上がり、働き続けられる職場の風土につながっています。

私たちは、これからも自分の仕事に誇りを持ち、京都九条病院の医療チームの一員として、さらに看護の質を高めることに貢献していきたいと考えています。



栄養科

お一人おひとりに合わせた、
食べやすい美味しい食事を
ご提供しています。



クックチルの導入で
衛生環境が強化され、
栄養科がリニューアル
されました

2020年5月から、調理にクックチルシステム（調理済みシステム）を導入しました。クックチルとは料理を急速に冷却してチルド（0〜3℃）保存後に、再び温めて盛り付ける方法です。急速冷凍することで味の劣化を防ぎ、完成された食品を保存するため、衛生的に保管することができまます。また調理する工程においても食中毒菌や異物混入といった感染や汚染のリスクが低減しまし

た。料理を安全に、美味しく保管・提供できる方法として注目されています。このシステムの導入により、衛生環境を大きく改善することができました。治療食として提供の難しかった、お寿司・うどん・お好み焼きなどメニューも増え、味付けにも変化をつけており、患者さんにも「病院食でもおいしい」と喜ばれています。

私たちは安全で
良質な食事を楽しんで
食べていただけるように、
取り組んでいきます

当院では1日に約500食の病院食を提供しています。患者さんの病状や治療方針は様々であり、日々変化します。それに応じて盛り付ける量や種類、形状が異なります。私たちは毎食ごとに、盛り付ける分量や形状をミスが無いように何重にもチェックを行い、細心の注意を払ってそれぞれの患者さんに合わせた食事を提供しています。

私たちの仕事は食器や配膳

下膳車の洗浄、残飯の廃棄、床をはじめ調理に関わる全ての部分の清掃など多岐に渡ります。現在、栄養科20名、臨床栄養部4名の総勢24名が協働で業務を行っています。管理職や栄養士が調理の現場に入ること、何か問題が起きたときに直ちに対処できるようにしています。例えば、盛り付け時間の見直し、業務と役割分担、交代制シフトの再考など食事に関わる全ての業務に対して、作業しにくい部分が見つければすぐに改善するように取り組んでいます。また、管理職、栄養士、パート従業員の全員が、垣根なく意見を出し合う機会が設けられていることも、職場の一体感の醸成、各人の職業意識の増進や責任感アップの要素となっています。これらの事が、働きやすい職場環境の実現につながっています。



私たちはこれからも協力しあって、どの患者さんにも楽しんでいただけるようなメニューを用意し、美味しく安全に食事をさせていただけるよう、サービスの拡充を図ります。

日本臨床栄養代謝学会
臨床栄養代謝専門療法士
がん専門療法士に
片山管理栄養士が
認定されました。

当院の片山影美子管理栄養士が、日本臨床栄養代謝学会の資格制度である臨床栄養代謝専門療法士・がん専門療法士として認定されました。

片山管理栄養士は、消化器病棟配属の管理栄養士として、消化器がんの患者さんに携わってきたことから、さらに専門性を高め、がん患者さんによりよい医療の提供をしたいと認定制度に挑戦、第1期のがん専門療法士の資格を取得しました。



臨床栄養部 課長
管理栄養士
片山 影美子



簡単さば味噌グラタン

材料(2人分)

1人分のエネルギー/348kcal
たんぱく質/20.2g、脂質/18.0g
食物繊維/1.6g、塩分/1.5g

- ◎さば味噌煮缶…1缶
- ◎玉ねぎ…1/4玉
- ◎さつま芋…1/3本(100g)
- ◎豆乳…80ml
- ◎コショウ…少々
- ◎ピザ用チーズ…30g
- ◎パセリ(お好みで)…少々

- ① 玉ねぎは薄切りにする。さつま芋は1cm程度の厚さでいちょう切りにし、軽く水にさらす。
- ② 耐熱皿に玉ねぎ、さつま芋の順に並べ入れ、ラップして電子レンジ600wで3分間加熱する。
- ③ ②に火が通ったら(やけどに注意!)、さば味噌煮缶の切り身をのせ、缶汁を大さじ2杯程度全体に回しかける。さらに上から豆乳を注ぎ、コショウ少々とチーズをのせる。
- ④ オープントースター又は200℃のオーブンで10分程度、チーズが溶けて全体に焼き目がついたら、仕上げにパセリ(お好みで)を振って、出来上がりです。

年の瀬に近づき、気温もぐつと下がってきて、温かいものがおいしい季節になりましたね。今回は手軽に使えるさばの味噌煮缶を使ったグラタンを紹介します。

みなさんは、普段からお魚を食べていますか？魚には肉に負けないくらい、豊富な蛋白質や身体に良い脂、ビタミンなどの栄養素が含まれています。特に、今回使用するさばにはDHA(ドコサヘキサエン酸)やEPA(エイコサペンタエン酸)といった若返り効果のある脂やビタミンがたっぷりです。さらに、さば缶は骨ごとやわらかく調理されてい

るので、丸ごと食べることでカルシウムもしっかり摂れて、まさに栄養満点の食材です。

◎DHA：不飽和脂肪酸の一種であり悪玉コレステロールを減らし、善玉コレステロールを増やす効果があります。脳の働きを良くし、アルツハイマー病や認知症を予防する効果があります。

◎EPA：同じく不飽和脂肪酸の一種です。血管を拡張する働きがあり、動脈硬化、高血圧、脳卒中などの発症リスクを下げる効果があります。

◎ビタミンB12：貧血を予防する効果があります。

◎ビタミンD：カルシウムやリンの吸収を良くし、歯や骨を強くする効果があります。また、さつま芋にはお通じを助ける食物繊維や、老化を防ぐ抗酸化作用のあるビタミンEやビタミンCが含まれています。

これから冷え込みが厳しくなり、風邪やインフルエンザの流行が心配です。手洗いや、マスクの着用に加えて、まずは毎日の睡眠としっかり食事を摂ることが大切です。栄養たっぷりのさばと旬のさつま芋を使った温かいグラタンを食べて免疫力を高めていきましょう。

FOOD for HEALTH

健康は毎日の食事から「医食同源」講座

講師:京都九条病院 管理栄養士
高瀬 夏子
Natsuko Takase

「さば缶」は手軽で栄養満点の食材です!



REHABILITATION for HEALTH

地道にコツコツ「健康運動」講座

京都九条病院
リハビリテーション部

アフターコロナを見据えた身体作りをしましょう!!



(図1) 椅子に座っての足踏み運動

今年の冬は、インフルエンザに加えて、新型コロナウイルスの感染拡大リスクもあり、外出を控えておられる方も多いのではないのでしょうか。しかし、外出自粛は、体力や筋力が低下する原因となり、ロコモやフレイルになる危険性ははらんでいます。

フレイルとは、「加齢とともに心身の活力(運動機能や認知機能等)が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態であるが、一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態」と定義されています。このフレイルの全国的な調査結果が、先日国立長寿健康センターから発表されました。

その結果、65歳以上の高齢者のおよそ8.7%がフレイル状態であり、40.8%がフレイル予備軍であるということがわかりました。しかも、

近畿地方では、9.8%がフレイル状態と全国平均を上回っており、京都市では、要介護者の割合も全国平均を上回っています。この調査は、新型コロナウイルスが世に出る前に行われたものであり、現時点ではさらにフレイル状態の割合が増えていることが予想されます。

実際、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、当法人の通所リハビリなどを自粛された方の中には、たった1ヶ月間の自粛で、運動機能が大きく低下したというケースもみられました。自粛前の運動機能が低い方に、このような傾向がみられるため、自宅で安全にできる運動をきちんと実施していくことが重要だとあらためて感じさせられる結果でした。

自宅で安全にできる運動の一つとして、椅子に座っての足踏み運動をご紹介します。

- ① 背筋を伸ばして、
 - ② 足をしっかりと挙げ、
 - ③ 軽く手を振りましょう。
- ※(図1)参照
- 物足らないと感じる方は、水を入れた500mlのペットボトルを、両手に持つて頂くことで、身体に負荷をかけることができます。20~30分かけて、じわっと汗をかく程度の運動ができれば、体力の低下を防ぐために効果的だといえます。
- 新型コロナウイルスが終息した後、また以前のように元気に外出できるよう、身体の調子を整えておくことが大切です。





永観堂に訪れた時の一コマ。紅葉の綺麗な日本庭園で過ごした家族との時間は大切な思い出です。これからもさまざまな場所に繰り出そうと計画中!

京都の面白スポットを訪ねたり、宇治茶を味わったり、地の利を生かして暮らしを楽しんでいます。

FACE of DOCTOR

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ

京都九条病院 整形外科
中島 駿
Shun Nakajima



整形外科専門医として外来診療を行い、骨折などの急性期の外傷性疾患を中心に治療・手術を行っています。丁寧な診察、分かりやすい説明、患者さんに寄り添った治療を心がけていますので、心配なことがありましたら、気軽に受診してください。

仕事の癒し、リフレッシュになっているのは子どもとの触れ合いですね。今、一歳ちょっとで可愛い盛り。できるだけ子どもが起きている時間に帰宅して、一緒に遊んだり、世話をするようにしています。

休日は体力づくりのために、ゴルフの打ちっ放しに行ったり、ジョギングをしたり。こちらに越してきた当初は鴨川沿いを走っていたのですが、もっと京都の文化や風情に出会いたいと、時々コースを変えながら街中を巡るように。そんななかで興味を持ったのが寺町通り。老舗茶舗をはじめ

個性的な店が並んでいて、味わいがありますね。走りながらこうした面白スポットを見つけておいて、改めてゆっくり訪ねるのも楽しみの一つです。新しく発見したのがお茶の美味しさ。東京で飲むお茶とは淹れ方が違うのですが、宇治茶に相応しい淹れ方を教わってからは、玉露や煎茶を飲み比べたりして、それぞれの味の違いを楽しんでいます。

寺社巡りもしていますが、もっとさまざまな京都の文化を堪能したいと思っています。さらにこれまで訪れる機会の少なかった西の方にも足を伸ばし、例えば瀬戸内国際芸術祭の舞台となっている香川の豊島や直島などに出かけて、芸術作品や美術館巡りもしたいですね。

LOVE my HOSPITAL

私の病院自慢あれこれ

京都九条病院のイイところ。こんなところがわたしたちの自慢です。病院のことが好き!!

好きな言葉 favorite word

「継続」

黒岩 梨花

検査部 臨床検査技士



仕事がスムーズに進むよう、スタッフ全員が協力し合うところがすごい。各自担当でない仕事でも、出来ることはどんどん行い、自分の担当がうまく進まないときも一人で抱え込むのではなく、誰かに相談をして最適な人に協力を仰ぐといったように、皆が互いに連携し合うので、とても仕事がしやすいんです。私は今、エコー検査を勉強中。学び続ける姿勢を大切にしてもっと高い技術を身に付け、責任を持って病気を見つけ出せる技士になるのが夢です。

好きな言葉 favorite word

「諦めない心」

横場 瑞貴

リハビリテーション部 主任理学療法士



誰かが困っているとき、皆で助け合いができる職場です。これまで同人社のさまざまな場所で働いてきましたが、どこもスタッフの仲が良く、互いに切磋琢磨していて働きやすいですね。リハビリを提供する上で心掛けているのは、諦めないこと。患者さんは不安を抱えて落ち込んでしまわれる場合もあります。そんな時、スタッフが同じように落ち込んでしまったら前に進めません。どんな時も寄り添う心を持ち、諦めないように励まし続ける姿勢を大切にしています。

好きな言葉 favorite word

「思いやり」

西窪 章

看護部 4階病棟



働きやすい職場です。先輩は優しく指導して下さるし、男性看護師だからというやりにくさはまったく感じません。日々の仕事は忙しく、患者さんお一人おひとりと関わる時間を長く持てないのが悩みですが、できる限り患者さんの話をしっかり聞いて、その要望に応えられるよう心掛けています。皆さんからいただく「ありがとう」の言葉を励みに、これからも患者さんに寄り添い、ニーズを傾聴し、それら全てに応えられる看護師に成長していきたいですね。

好きな言葉 favorite word

「ありがとう」

小原 芽依

事務部 医事課
ゲストリレーション



先輩方がやさしく教えてくださるところです。以前は医療関係の内勤業務をしていたのですが、この病院に通っていた祖母から、ゲストリレーションの方に丁寧な対応をしてもらったという話を聞き、ぜひそうした患者さんに直接接する仕事がしたいと転職してきました。入社してまだ一ヶ月。さまざまな方に臨機応変に接遇するのは難しいのですが、どんな時も笑顔で的確に対応できる能力を身につけ、来院される皆さまを見守り、サポートできるようになりたいと思っています。



院内散策
さんさん

48

『看護部・新人看護職員研修』

「保健師助産師看護師法」「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正により、平成22年4月から、新人看護職員の卒後臨床研修が努力義務となりました。この背景には、臨床現場で必要とされる臨床実践能力と看護基礎教育で習得する看護実践能力との乖離が生じていること、さらに、その乖離が新人看護職員の離職の一因となっていることがありました。

「基礎知識を実践に結びつけ、個々の患者の看護を展開する」の3つの目標を掲げています。

内容としては、基礎看護技術をベースに日常生活の援助に係る摂食・口腔ケア技術、排泄ケア、移動技術や病態把握、救命救急処置技術、注射の技術、コミュニケーション技術などを学びます。また、医療現場では、他職種連携のチーム医療が不可欠です。ME機器については、臨床工学技士が、ハイリスク薬剤については、薬剤師が講義、指導するなど、他職種の協力により専門知識を多角的に深める内容になっています。特に、ハイリスク薬剤を学ぶプログラムでは、新人薬剤師も一緒に講義を受ける形をとっており、互いの捉え方の違いを共有するだけでなく、医療事故防止に向けた、チーム医療に必要なコミュニケーションの第1歩になつていきます。新人看護師は、これらの様々な研修と各部署での実践を通して、知識と技術、態度を身につけていきます。

看護の質の向上、医療安全の確保、早期離職防止の観点から、新人看護職員研修は不可欠です。京都九条病院は開設時より独自に新人看護職員研修を実施してきました。平成22年に厚生労働省の新人看護職員研修ガイドラインが制定されたことから、平成22年以降は、このガイドラインに基づいた研修を行っています。

特性やそれぞれの段階に合わせた臨床実践内容を検討し、実践できるように指導をしています。そこには、「一人ひとりを大切にされた安全安心な看護の提供」という当院看護部の理念に基づき、新人一人ひとりを大切にされた指導をすることを信念にしています。更に、新人のメンタルヘルスの把握に努め、元気で就業できることにも気を配っています。

新人看護師は定期的に学びの振り返りを行っています。その中でのリフレクションという研修は、新人看護師に加え、各階の主任が参加し、今までの実践を振り返るリフレクション(振り返り、自己を内省すること)を行っています。自己の振り返りだけでなく、先輩の経験談やアドバイスを聞けると新人看護師からは、好評です。

新人看護職員研修では、**看護の核となる能力を養います**

当院は、専門職業人としての第1歩を踏み出した新人看護師が、臨床実践能力を確実に身に付けるだけでなく、看護師としての社会的責任や基本的態度を修得することを目的として、「京都九条病院の職員として自覚を持ち、組織の一員として行動する」「安全安楽を視点にした基本的看護技術を学び、ベッドサイド業務を確実に行う」

新人教育にあたっては、新人看護師の指導を担当するプリセプターに加え、病棟全体で新人を育成するという風土があります。看護師全員が研修の学習内容、プログラム等を把握しているので、新人看護師の

これら多くの人たちに支えられて、当院の新人看護師は、1年後には、自らが先輩となる自分への期待と課題を明確にし、京都九条病院の一員として地域の患者さんにより良い看護を提供できるナースとして成長します。

新人看護師一人ひとりを大切に育てます

現在研修中の看護職員



現在研修中の看護職員

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院

〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10 TEL 075-691-7121(代)

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 マムフローラ
〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺奥ノ院25-2 TEL 075-958-3388(代)

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 マムクオーレ
〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合町40-3 TEL 075-691-7755(代)

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 マムクオーレII
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38 TEL 075-694-6655(代)

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院
訪問看護ステーション・マム
〒601-8453 京都市南区唐橋経田町16 TEL 075-661-3820(代)

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院
訪問リハビリテーション
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10 TEL 075-694-6644(代)

医療法人同仁会(社団)
ヘルパーステーション マム
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38マム・スクエア内2階 TEL 075-694-6622(代)

医療法人同仁会(社団)
**京都市唐橋地域包括支援センター
京都市唐橋地域包括支援センター 介護予防支援事業所**
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38マム・スクエア内1階 TEL 075-694-6222(代)

医療法人同仁会(社団)
居宅介護支援マムステーション
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38マム・スクエア内2階 TEL 075-694-6699(代)

医療法人同仁会(社団)
保育所 まむまむ
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38マム・スクエア内1階 TEL 075-694-6680

医療法人同仁会(社団)
同仁会クリニック
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30 TEL 075-691-7766(代)

医療法人同仁会(社団) 同仁会クリニック(併設)
同仁会疾病予防研究所
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30 TEL 075-691-5070(代)

京都九条病院(提携)・同仁会クリニック(併設)
メディカルフィットネスクラブ SHIN-SHIN
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30 TEL 0120-558-756